

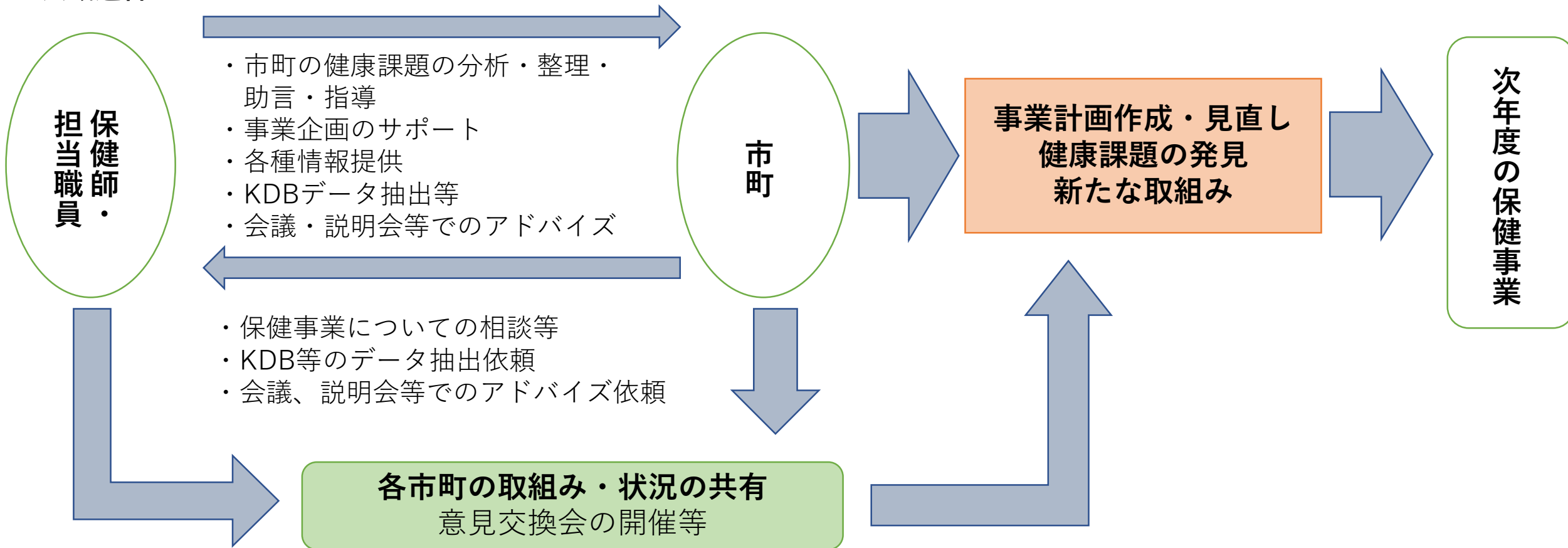
## 4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の 一層の推進について

## 【新規】後期高齢者の保健事業等アドバイザー事業

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業を委託及び委託予定の市町に対して、保健師と担当職員が事業計画段階から関わり、定期的な進捗管理の機会等で課題を把握し、訪問等により、継続的な伴走支援を行う。

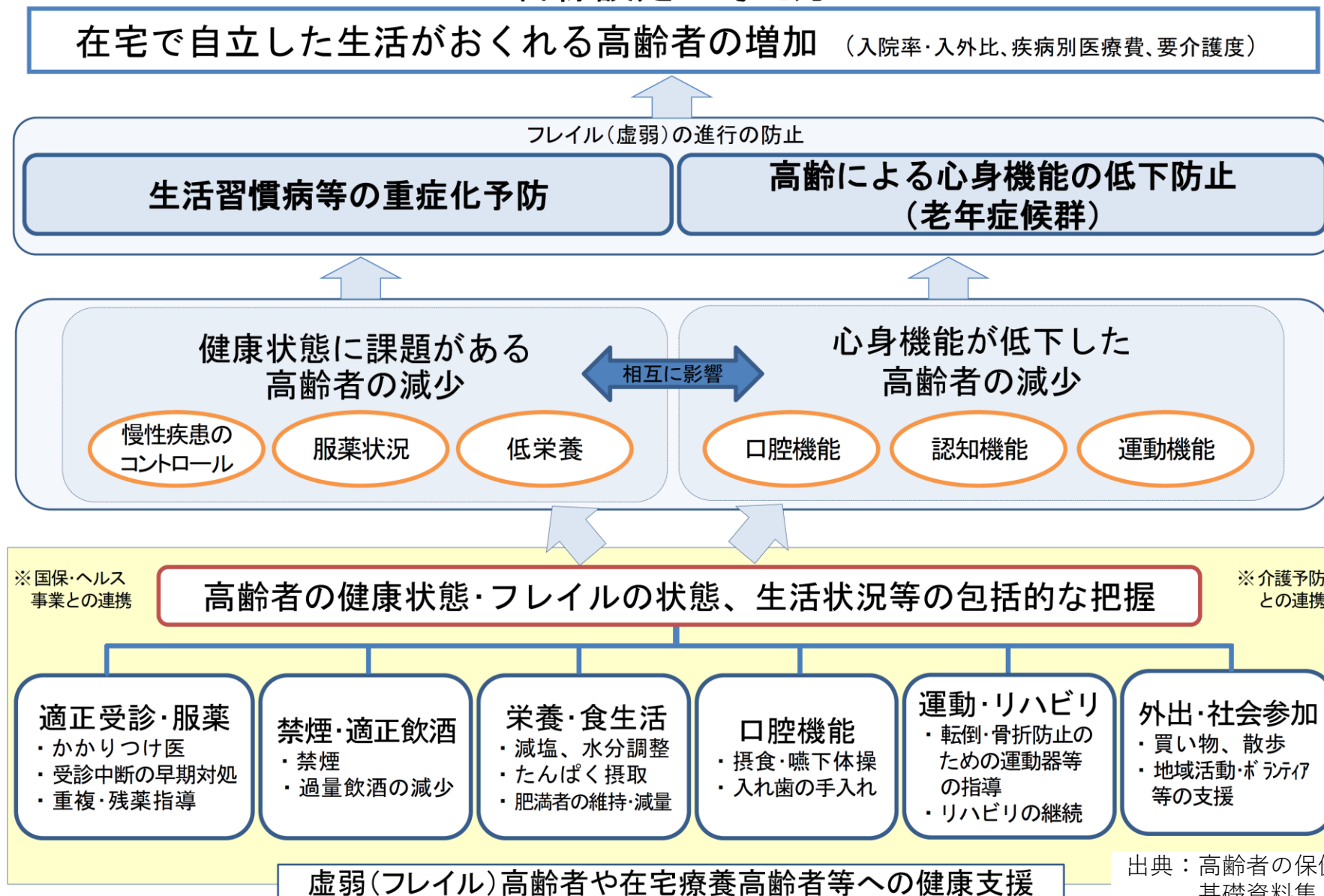
広域連合

継続的な伴走支援



企画・調整担当医療専門職対象

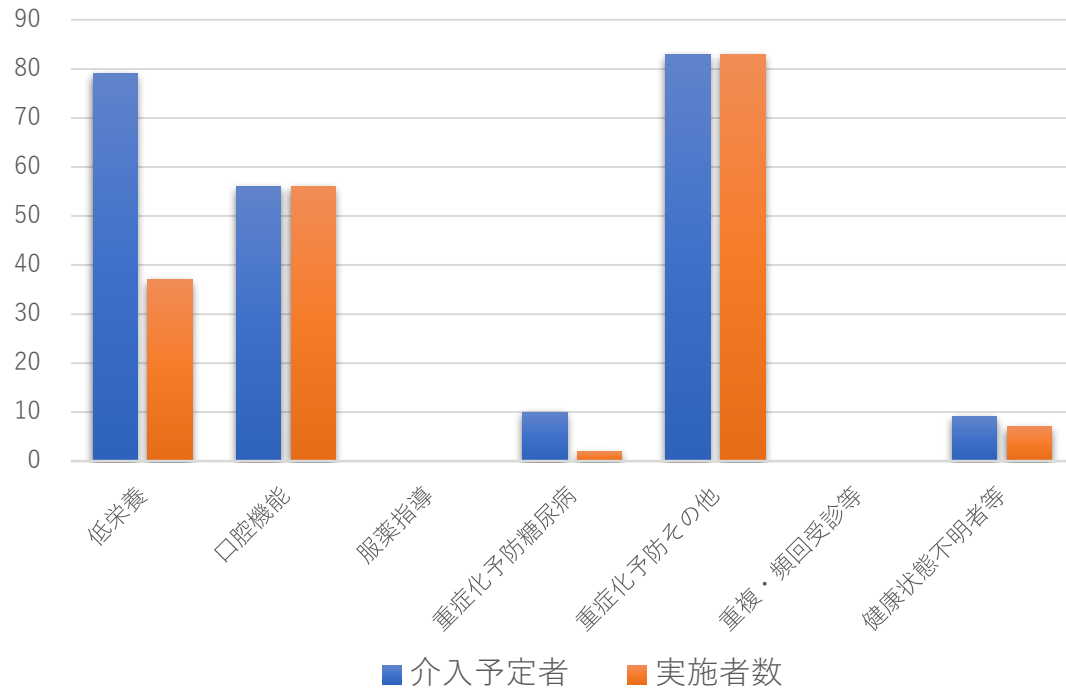
## 目標設定の考え方



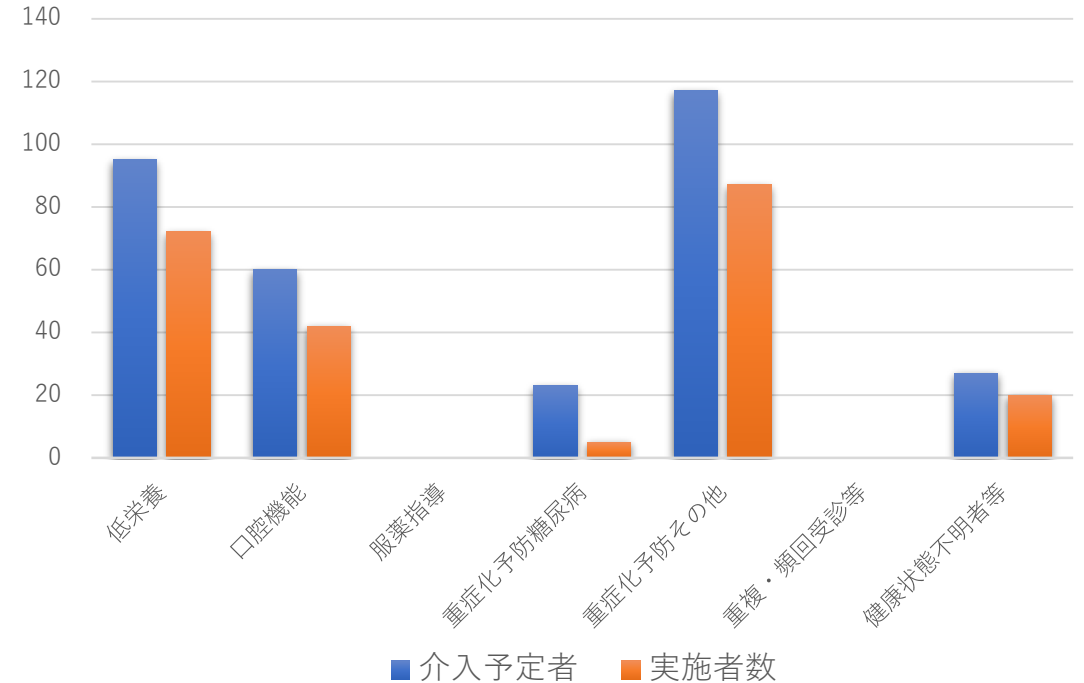
## 令和3年度までの取組状況（ハイリスクアプローチ）

低栄養防止、口腔機能、服薬指導、重症化予防(糖尿病性腎症)、重症化予防(その他生活習慣病)、重複・頻回受診等、健康状態不明者等の事業

令和2年度ハイリスクアプローチ実施者数



令和3年度ハイリスクアプローチ実施者数



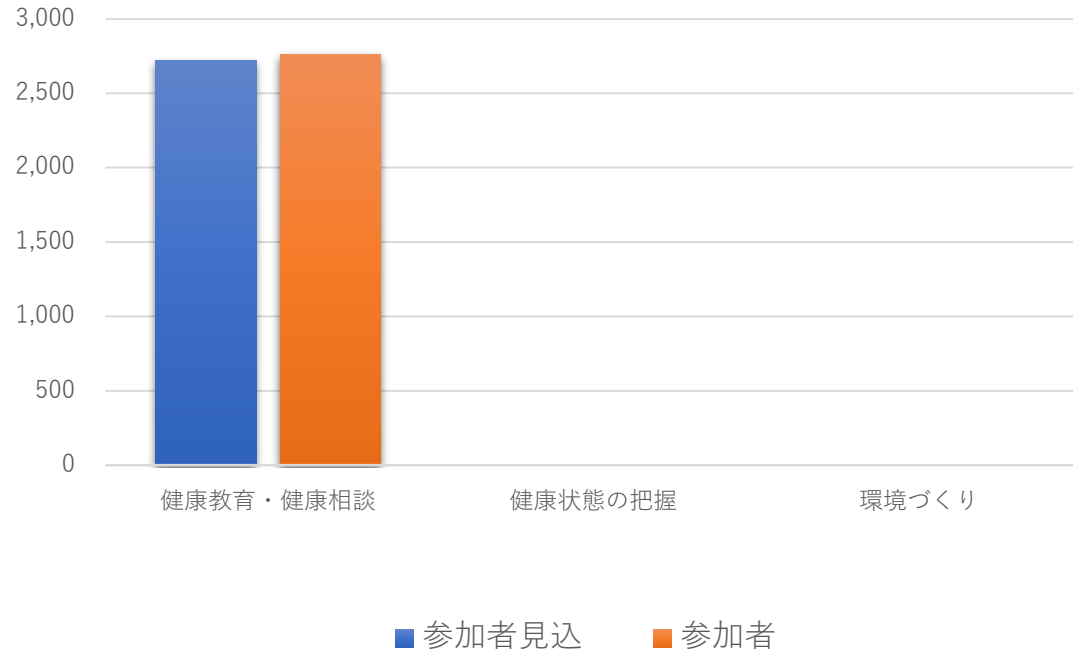
### 課題

- ・ 緊急事態宣言等で開始時期が遅れ、計画どおりに実施ができなかった。
- ・ 重症化予防(糖尿病性腎症)は、昨年度、国保の同事業対象者で後期高齢者医療制度に異動のあった75歳に限定しているため、対象者が少なく、また、継続した介入ができていない。
- ・ 定期通院をしていたり、医療機関で問題なしと言われているケースもあり、主治医との連携が必要。
- ・ 来庁指導を拒む方や、出向けない方もいるため、移動手段の検討や電話、オンラインでの指導も検討。

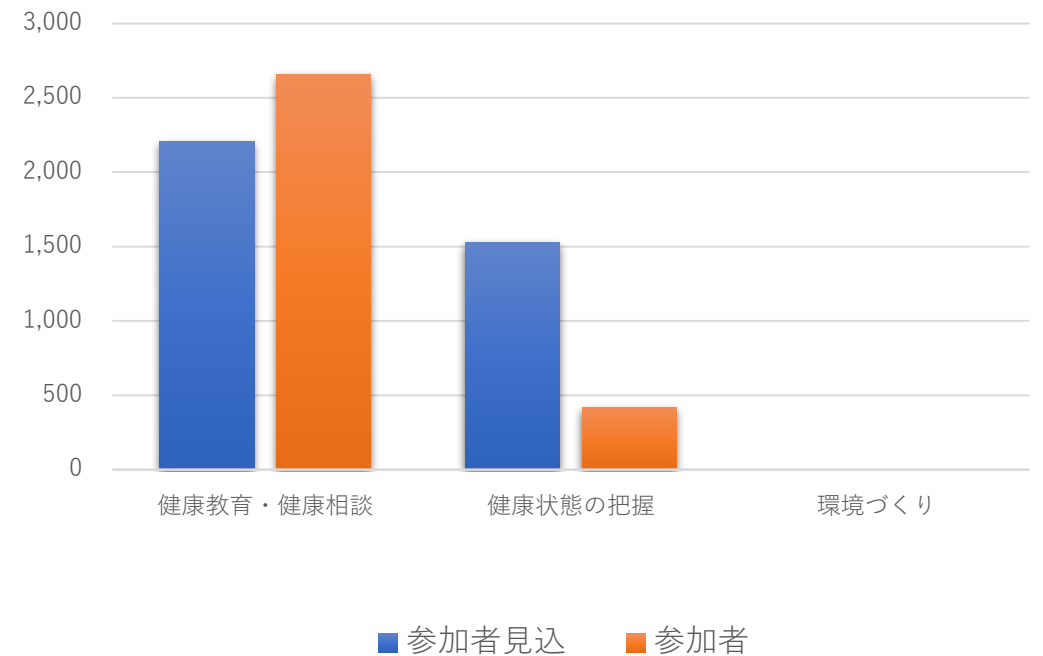
## 令和3年度までの取組状況（ポピュレーションアプローチ）

通いの場等において健康教育・健康相談、健康状態の把握、気軽に相談できる環境づくりの事業

令和2年度ポピュレーションアプローチ参加者数



令和3年度ポピュレーションアプローチ参加者数



### 課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、出向くことができなかった地域や、通いの場が開かれなかった地域もあり、思うように活動ができなかった。
- ・介護予防DVDやYouTubeでの配信を試みたが、高齢者はデジタルに弱く、効果はあまり見られなかった。
- ・感染症対策をしながら社会参加の必要性等の情報を提供できるように工夫が必要。



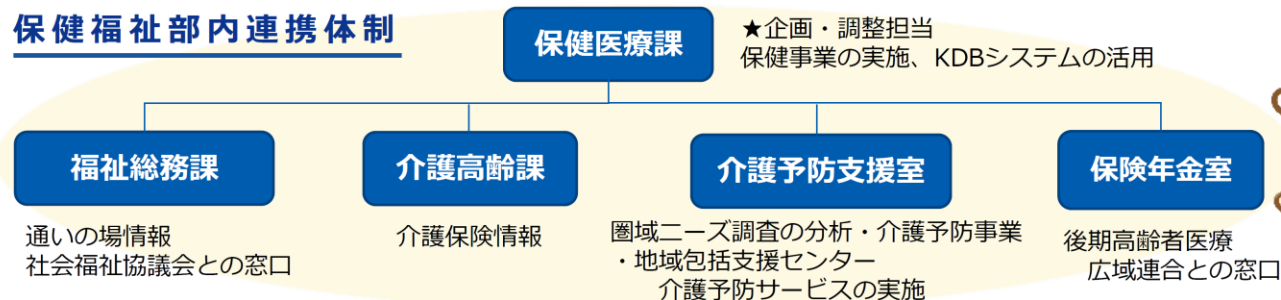
## （適切な受診等への支援に関する事例）

### 三重県桑名市 在宅医療・福祉統合ネットワークを活用した適切な受診等への支援

- 一体的実施に関わる高齢者のうち、医療介護サービス等への接続が必要な高齢者の情報について効率的に関係機関につなぎ、継続フォローできるよう、ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク（電子@連絡帳）を活用した連携体制を構築した。

市の概況(令和3年3月31日時点)		
人	口	141,045 人
高	齢	化
率		26.7 %
後	期	被
保	険	者
数		19,011 人
日	常	生
活	動	圏
域	数	6 圏域

#### 保健福祉部内連携体制



#### 取組の経緯

- 健康課題の分析で後期高齢者の健診・医療受診率、介護認定率は県内で低いが、1人当たりの医療費、介護給付費は高いことが明らかとなった。そこで、ハイリスクアプローチのひとつとして、「医療・介護未利用者に対する健康状態把握事業」に取り組むこととした。

#### 企画調整等

- 各連携課の課長級による「一体的実施にかかる調整会議」を開催。実施している事業の進捗等について報告し、事業の方向性等を決めている。助言者として広域連合が参加
- 各連携課の実務担当者による「実務担当者会」を開催し、各課のデータ共有や支援方法の検討等を行っている。助言者として在宅医療・介護連携支援センターが参加

#### 健康状態不明者の把握事業

- 【対象者】** 当該年度77歳到達者のうち、前年度の健診・医科歯科未受診かつ介護認定未取得及び介護サービス未利用かつニーズ調査未提出者
- 【実施方法】** 対象者に対し、高齢者の質問票を郵送での提出を求め、提出のない者は保健師が訪問し状況を把握、提出のあった者は回答内容に応じて必要なサービスへの接続等を実施。
- 【対象者の状況】**
- ・ 特段の支援を必要としない元気な者が最も多かった。
  - ・ 健康状態に課題がある者や家庭環境の状況等から地域包括支援センターの紹介や医療機関の受診勧奨等を実施した。
  - ・ 口腔の状態に課題があっても「食事には困らない」という理由で歯科受診をしていない者もいた。



#### 関係機関との連携

- 地域ケア会議の1つである**圏域会議**（庁内の各課、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター等の担当者により構成）で定期的に一体的実施の取組の情報共有や必要時は事例検討を実施しており、日頃から顔の見える関係を構築。さらに、関係機関とより効率的・効果的に情報共有できるよう**ゆめはまちゃん医療・介護ネットワーク（電子@連絡帳）**を活用。医療や介護等が必要と考えられる高齢者の状況を共有し、必要に応じて同行訪問等も含めて検討している。
- 医師会・歯科医師会から一体的実施に対する助言、協力を得て実施している。

出典：高齢者の保健事業 基礎資料集（厚生労働省）